

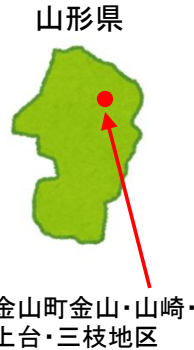
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻が主体の中間農業地域。また、町内で最大規模のにらの産地。
- 農業者の高齢化による離農が進み、耕地面積の減少が課題となる中で、農地の維持に向け、担い手への集約、園芸作物との複合化を図りながら、担い手の農業経営を強化する必要がある地区。

【支援内容・背景】

- 農地集約化による担い手の経営規模拡大及び安定した農業経営の実現に向け、作業の効率化及び園芸作物との複合経営の確立を支援する必要。
- 助成対象者は地区内における中心経営体として、水稻と園芸作物の複合経営を営んでおり、農地の受け皿として経営面積を拡大。また、更なる経営規模拡大を計画しながら、水稻や野菜等の安定生産を志向。
このため、地区における経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「高橋香」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年 新規就農(親元就農)
- 平成26年 青年等就農計画の認定
- 平成30年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 経営規模拡大と収益力向上を図るためには、作業の効率化が必要。令和2年度から取り組んでいるにらの安定した出荷を行うため、水稻作業の効率化に資する高性能機械等を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 14百万円
○経営面積 9.47ha
(水稻、にら、山菜等)

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台
事業費 9,240千円
(国費 4,200千円)
- 遠赤乾燥機 1台
事業費 2,412千円
(国費 1,096千円)
- パイプハウス(育苗用) 一式
事業費 2,969千円
(国費 1,349千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○売上高 25百万円 (179%)
○経営面積 14.16ha (150%)
(水稻、にら、山菜等)

事業の
効果

《対象者》 作付面積が拡大するとともに作業受託面積も増加。さらに、水稻に係る作業効率向上により、稲刈時期と重なることが課題だったにらの出荷についても安定出荷が可能となり、売上高の増加が実現。

《地区》 助成対象者による地区内の農地集約化が進展し、遊休農地の発生を抑制。